

赤色立体地図で自然公園の景観・魅力を探る

アジア航測株式会社 東北インフラ技術部地域創生課 係長 鈴木太郎

目的とコンセプト

観光立国の推進において、自然公園に関する成り立ちや魅力を分かりやすく伝えることなどが求められている。そのために、地域資源を可視化し、ストーリー性をもたせて発信することが有効である。当社が開発した赤色立体地図は、標高データから地形の凹凸を視覚的に表現した地図で、近年は防災分野だけでなく、ジオパークやピクチャーセンター等での地形解説展示や、メディアでも活用されている。ここでは、現在試行中の、赤色立体地図を活用したWebコンテンツを紹介する。自然公園の重要な景観要素である地形を視覚的に表し、全国の地域資源をスト

リー性をもたせて発信をしていきたいと考えている。

発信コンテンツの内容

ArcGIS Onlineの機能を活用し、Web上で3Dビューワや記事を作成・発信・閲覧できる技術を生かしたサービスを実験的に展開している。

ここでは、以下四つのコンテンツを紹介する。是非QRコードから閲覧いただきたい。なお、いずれも赤色立体地図は国土地理院の基盤地図情報5m・10mメッシュ標高データから作成し、必要に応じて地理院タイルの淡色地図を重ねている。

■コンテンツ① 「赤色立体地図で楽しむ日本百名山」

赤色立体地図を重ねた3Dビューワ上で、日本百名山を紹介するコンテンツを作成した。なお、3Dビューワ上で全国の赤色立体地図を閲覧できるサイトはこれが初公開である。

ここでは、日本百名山の地形の凹凸を眺めることができる。また、画面上の各百名山の紹介文をスクロールすると、3Dマップ上の該当する百名山の視点へ連動してジャンプする。鳥瞰的な自由視点で個性豊かな名峰の地形を気軽に楽しめることを目指している。



コンテンツ①「赤色立体地図で楽しむ日本百名山」
各百名山の特徴的な地形を、3D上の赤色立体地図で眺める



(スマートフォン・PC両方に対応している。日本百名山のコンテンツは、スマートフォンよりPCでの大画面での閲覧を推奨)。

■コンテンツ②

「磐梯山ジオパーク」地質の日「ジオツアー」2025

令和七年五月十日、「磐梯山地質の日ジオツアー」において、磐梯山ジオパークと連携し「磐梯山の岩なだれが造り出した奇岩・地形」をテーマにジオツアーを実施した。筆者も案内人の一人を務め、磐梯山山麓の奇岩にまつわる伝承を切り口に、景観に隠された磐梯山のダイナミックな成り立ちを、赤色立体地図で解き明かすツアー



コンテンツ②「磐梯山ジオパーク」地質の日「ジオツアー」2025
ジオツアーの風景



を行った。その内容を、ArcGIS Onlineのストーリーマップ機能を用いてまとめた。

■コンテンツ③

「地形の目で巡る能登半島」

日本の自然公園の特徴として、そのダイナミックな景観の背景には、大規模な自然災害の発生が関わっているケースが多い。令和六年元日の能登半島地震と同年九月の奥能登豪雨がつくり出した光景を、赤色立体地図を手に鳥瞰的な視点で視察し、気付きをストーリーマップにまとめた。

能登半島の東側の内浦地域の視察では、津波や液状化による被害



コンテンツ③
「地形の目で巡る能登半島」被災地の風景を赤色立体地図と併せて紹介



が色濃く残っており、平野部や埋め立て地で被害が大きかったことが分かった。また、北側の外浦地域では、海岸隆起や斜面崩壊が著しく、風景を一変させていた。

「みちのく潮風トレイルを歩く」

地元の方の証言とともに、赤色立体地図や当社撮影の航空斜め写真などの俯瞰視点と併せて、大災害に対する気付きをまとめた。

■コンテンツ④

「みちのく潮風トレイルを歩く」

「岩手県山田町船越半島」

三陸復興国立公園を貫く「みちのく潮風トレイル」。その魅力が発信すべく、岩手県山田町船越半島区間を歩いた。



コンテンツ④
「みちのく潮風トレイルを歩く」リアスの海岸線や地形を紹介



当区間はリアス海岸となり、岬先端の標高五〇七mの霞露ヶ岳から海拔〇mの瀧磯海岸までの高低差や風景の移り変わりを楽しめる。赤色立体地図で見ると、起伏の大きいリアスの半島を周遊する充実したコースであることが分かる。当コースのデイハイイクの様子を、赤色立体地図と景観写真を連動させたストーリーマップにまとめた。

今後に向けて

当社の赤色立体地図を紹介する広報ページにて、赤色立体地図のコンテンツサイトの作成に取り組んでいる。現在、上記のコンテンツ①の「日本百名山」を第一弾として公開している。併せて、自然公園の成り立ちや魅力を伝える展示物や製品として、伊豆大島や霧島、立山等の例を紹介している。

今後は、日本全体の景観の魅力や気付きを紹介するコンテンツを、地形の成り立ち、歴史文化、ジオパーク、トレイルなど、多様な切り口でシリーズ化し発信していきたい。また、全国の国立公園やジオパーク、ネイチャーガイドなどと連携しながら、景観・魅力の発

信を行える仕組み作りを目指したい。

当サイトの赤色立体地図コンテンツの画像利用や商用利用をご検討される方は、当サイト「たつろうたるう+イガリの推しの赤色 https://www.rim.jp/toposeum/」のページ末尾からお問い合わせいただきたい。



赤色立体地図コンテンツサイト

鈴木 太郎 ● すぎき たろう
国立公園の利用計画や地方自治体の地域活性化業務に携わる。赤色立体地図で地域資源を掘り起こし発信する取り組みを進行中。